

第2回 東三河まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会

議事録

日時 平成28年11月9日（水）

午後6時00分から8時00分まで

場所 豊橋市職員会館3階301会議室

■次 第

1. 議事

東三河まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について

■発言要旨

発言者	要旨
小林委員	・基本目標1の数値目標について、観光入込客数以外に宿泊者数も入れたほうがよいのではないかと思います。
松井会長	・「魅力あふれる地域」というのは、観光だけでなく住みやすさなども入ると思う。
石川委員	・「子育てにやさしい東三河」「住みやすさ」を地域ブランドとして打ち出してはどうか。
小林委員	・婚活イベントを開催し結婚・移住を考えてくれる方には空き家をあっせんするなど、住みやすい東三河を打ち出してはどうか。
鈴木委員	・東三河の情報をまとめて、広域で発信していく必要があると思う。
松井会長	・首都圏と東三河の生活費のデータをまとめたものがあるとよい。
安彦委員	・「魅力あふれる地域をつくる」はどこの総合戦略を見ても記載がある。魅力を書き込んでほしい。地域内の回遊も必要である。
神谷委員	・観光振興はどこの市町でも行っている。外国人をどれだけ拾えるか。また、B1グランプリのように、何か違った形

	のもので打ち出していけないか。
瀬野委員	・誰もが興味を示すような「東三河の情報」がほしい。 ・東三河としてこれはできたという成果を残すべきである。
高瀬委員	・どのようにしたら子どもを産んでもらえるかを考えなければいけないと思う。
高橋委員	・広域で観光振興をやるなら腰を入れてやらなければいけない。お金がいくら落ちているかなどの調査や強力な推進体制が必要となる。 ・官民協働による地域経営主体の確立の指標について、DMOの設立や検討など目標値を入れてほしい。
安彦委員	・DMOの指標が曖昧である。平成31年にどのような姿を目指していくのか設定することが大事だと思う。
神谷委員	・地域経営人材の育成の指標「延べ20人」は少ないと思う。 ・既に行われている人材育成ではなく、例えば、インキュベータオフィスを学生に向けて設置してはどうか。 ・DMOの担い手を育てるのであればはっきりと記載した方がよいと思う。
小林委員	・インキュベータオフィスを設置してもなかなか申し込みがないと聞く。東三河では難しいと思う。
高橋委員	・サイエンスクリエイトで「3Dプリンター」などが使えることを学生は知らない。身近でできる場を提供することが大事である。ハッカソンも面白い取り組み。
安彦委員	・DMO人材の「延べ20人」は大きな目標である。DMOの人材育成と記載したほうがよいと思う。
小林委員	・「住みやすさ」「物価が安い」などの情報を愛知県内でも発信していくことが必要ではないかと思う。 ・東三河の企業情報を集約し、地域内の学生や首都圏の大学などに積極的に発信していくことが必要である。各大学に行って東三河の企業PRすることは広域でしかできないと思う。学生が地元に戻る道筋をつくるべきである。
石川委員	・就職情報を知らせることはよい。それだけで終わらせずにもう一步踏み込んだ仕組みをつくる。例えば首都圏から学生を雇ったら報奨金を出してはどうか。
松井会長	・豊橋市はその支援がある。ただ、一般の企業にあまり知ら

	れていないのではないかな。 ・ 合同企業説明会を開催しても学生が来ない。商工会議所がやっている。広域連合もやる。うまく調整してできないかな。 ・ 良い企業があっても学生が知らない。マッチングが足りていないと思う。
安彦委員	・ ほの国こどもパスポートに関する事業が少ないと思う。民間施設などを絡めてやることを考えたかどうか。
神谷委員	・ 各市の包括ケアには差があると思う。どのようにとりまとめて策定していくのか検討することが必要である。 ・ 介護職員の資格取得支援についても、誰がどのようにやるのか具体的に考えていかなければいけない。
松井会長	・ 「安心して暮らせる地域をつくる」について、内容が介護に偏り過ぎていると思われる。子どもの視点を追加できるとよい。
神谷委員	・ 児童館の情報など、子育て世代に対する情報発信ができるかよいのではないかな。フリーペーパーや口コミなどが効果的であると思う。
小林委員	・ 待機児童ゼロ、1 学級 30 人などを「東三河の魅力」として表していけるとよい。
鈴木委員	・ すべてにおいて情報の発信不足である。「住みやすさ」など他とは違った東三河の魅力を、客観的なデータをもとに打ち出して、広域で発信していく必要があると思う。
松井会長	・ 結局のところ、すべてはDMOがやっていくことだと思う。
石川委員	・ ブランド化して、大きな方針を打ち出してくれるとアピールしやすい。
瀬野委員	・ 基本目標を 4 つに分ける必要はないのではないかなと思う。何を中心にやるのか決めてやるべきである。 ・ 東三河の情報を集めて発信してはどうか。
小林委員	・ 婚活、空き家、働く場、子育て情報などの情報発信が大事である。
安彦委員	・ 東三河の人が東三河のことをもっと知るべきである。それが地域の情報発信に繋がっていく。
松井会長	・ DMOは観光だけの話ではない。まちづくりの担い手として広域でDMOができるとよいと思う。

小林委員	・トヨタや日本車両の工場など、産業は観光振興となりうる。
石川委員	・目玉が見えない。打ち出したほうがよい。DMOを作るというのは一番の目玉になるのではないのか。
鈴木委員	・観光メインでないDMOを東三河でつくるとしたら大きな目玉となる。
松井会長	・補助金ありきのDMOではいけない。広域連合が旗振り役となって推進していけばよいと思う。
安彦委員	・観光だけではなく、地域活性化を目指すDMOを東三河として打ち出していくべきである。
鈴木委員	・地域活性化を目指すDMOを設置することができれば、総合戦略に記載してある事業のほとんどができると思う。その目標に向けて、各団体が取り組んでいけばよいと思う。
神谷委員	・DMOの設立をはっきり書いて、あとは、誰がどうやっていくか、広域連合が交通整理すればよいと思う。
松井会長	・東三河の目指すDMOは観光だけではないということがわかるように記載していただきたい。
高橋委員	・別案として、広域防災の仕組みづくりや、三河港のPRも広域でできたらよいと思う。